

生産性向上支援訓練 実施事例

(株)丸秀 長井工場(山形県長井市)さま



1. 会社概要

◆業種：輸送用機械器具製造業

◆利用コース

クラウド活用入門

I o T活用によるビジネス展開 他

◆実施時期：平成30年6月

2. 課題

弊社では、IT、IoTを活用して工場全体の情報管理を電子化し、さらに生産設備の稼働情報を収集・分析

して非生産作業を特定し自動化技術で代用することで、「品質の向上」「生産性の大幅向上」等を導く計画を立案いたしました。

推進開始に当たり、会社全体でIoTの考え方を理解、共有できていることと、IoT活用に必須となる機材、ソフトウェア等の基礎的知識、スキルを得ることが課題であったため、こうした課題とマッチングするような研修を探していたところ、ポリテクセンター山形より「生産性向上支援訓練のご案内」をいただき、特にバックオフィス分野の諸コースが当社のニーズに適していると思われたため、ご相談し受講させていただくこととなりました。

3. 訓練を利用した感想

イ) 訓練の準備段階への感想

ポリテクセンター山形から相談員の方が来社され、訓練の詳細を相談させていただきました。弊社のニーズに合わせたカリキュラムの調整や実施場所、最適な講師の選択等を計画いただき、その後、講師の方々も来社されてさらに詳細の詰めをしてくださりました。訓練の準備を周到に進めてくださったことで、弊社の求める知識、スキルを習得できる素晴らしい訓練となっていると感じています。

ロ) 実際の訓練を利用した感想

訓練には社長、工場長と共に設計、製造、品管、情報管理、総務の各部門から参加者を選択し受講させていただきました。背景の違う受講者であること、日頃情報処理等にはあまり携わっていない人も交じっていますし心配しておりましたが、各々極めて積極的に受講していたように見受けられました。説明を聞くだけでなく、実際にコンピューターを操作しながらのまさに訓練になっていたところが素晴らしい点であるように感じました。次回以降、実データを基に実務に近い形で受講を重ねることにより各々の理解が深まることを期待しています。



4. 訓練の内容はどのように職場で活用されていますか

今回の訓練で会社各部門のI o Tに対する全般的な理解は確実に高まりました。

全社にI o T計画を展開するベースが整いつつあると感じます。

製造部門等で習得した分析ソフトであるパワーBI等で、現有の稼働データを工程分析する活動が

すでに始まっています。

5. 今後の計画、展望など

習得する知識、スキルを活用して情報管理の電子化や、生産設備の稼働情報の収集システムの構築を実現していきたいと考えています。これらのシステムにより情報が常時豊富に活用できるようになるため、会社全体で品質、及び生産性を向上させる活動を加速していきます。



代表取締役
小林 隆志さま

受講者の声

Q : 受講した感想はいかがでしたか。

「クラウド、I o T」とは？と理解しきれていないところからの受講でしたが、基礎となる説明や他業種での事例を交えながら訓練を進めて頂いたため、理解しやすくクラウドやI o Tの全体イメージを捉えることができました。理解を深めたことで自部署ではクラウドやI o Tをどのように活用し、どうなりたいのか。などの次のステップへの目標設定がしやすくなり、また、全体で訓練に臨んでいるため分からないことや考え方が共有できている点が良いと感じました。

Q : 訓練で習得したことをどのように業務に活用していますか

習得した分析ソフトを用いて各工程の分析を行ない始めています。今まではデータを様々な形に加工し、それぞれ「見える化」を行なっていましたが、ツールを用いることで様々なデータを様々な形で「見える化」できるようになりました。また、結果を捉えやすくなり費やす時間が短縮できていることが良いと思います。



受講者代表 児玉 大樹 さま

Q : 受講後どのように活用していきたいですか

I o Tから得られた情報及びデータを分析ツールを用いることによって、更なる目標設定や問題点の早期発見、対策へ繋げられるよう継続してスキルアップに励みたいと思います。